

百歳体操



さまざまな事業が中止となっている中、各地域で「百歳体操」が再開されてきています。まちセンからも取材にお伺いしました♪



足の体操「1,2,3・・・」
意外とハードなんです



家ではなかなかできないけど、みんなと一緒に楽しかった
百歳めざして、今日も体を動かしました



血圧を測って健康管理も万全です

お知らせ

よどまち未来セッション

With コロナ 離れていてもつながるカタチ
～地域の新しい情報発信～

日時：2020年12月8日（火）19時～20時30分
場所：淀川区役所 会議室

さまざまな地域や立場の人が集まって、淀川区の未来について語り合う「よどまち未来セッション」。今回は講師に平井裕三氏（浪速区まちづくりセンターアドバイザー）をお迎えし、多様な地域情報の発信についてお話いただきます。
是非、ご参加ください!



淀川区まちづくりセンター

〒532-8501 大阪市淀川区十三東 2-3-3 淀川区役所 4階
TEL 06-6309-5656 FAX06-6309-5657
mail yodogawa-machikyuu@festa.ocn.ne.jp
HP https://yodomachi-new.jimdofree.com/
Facebook https://www.facebook.com/ymachisen

今年はコロナ禍で、すっかり地域コミュニケーションが弱くなってしまったと感じていましたが、アンケートの結果「地域連携が強くなったと感じること」の皆さんのコメントを読んで、大変な中でも物資を分け合ったり情報交換をされたりと、互いに助け合われていたという事が分かり、とても感動しました。
本当に早くコロナが収束して欲しいです。(村上)

令和 VOL28

2020年11月

淀川まちセン通信



淀川まちセン通信は、淀川区の地域活動協議会に関する情報発信、淀川区まちづくりセンターの活動紹介、多様な地域資源の紹介を目的に発行しています。

新型コロナウイルス感染症に関する意識調査結果報告（その1）

今年は、新型コロナウイルスの対応に追われた年となりました。そこで、淀川区内の企業、福祉施設、学校などが、どのように対応し、どのように乗り越えてきたか、地域との連携や情報収集についてどのように感じたかを調査する目的で、「新型コロナウイルス感染症に関する意識調査」を実施しましたのでご報告いたします。

実施期間：2020年8月6日（木）～8月31日（月）

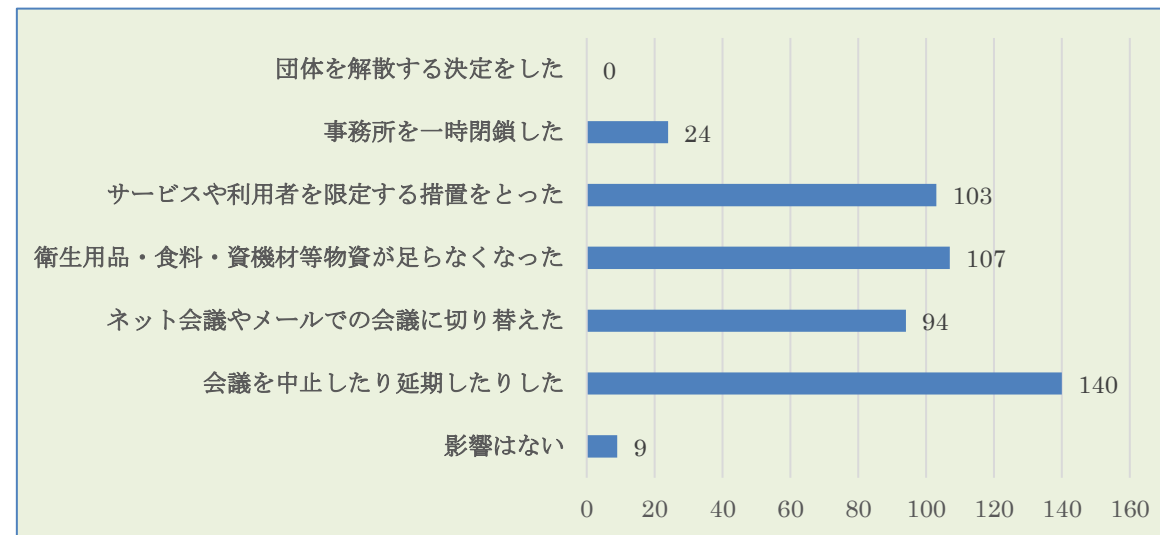
配布団体：淀川区内の企業、福祉施設、幼稚園、保育園、専門学校、NPO等 計387団体

回収団体：188団体 回収率：48.6%



問1 新型コロナウイルス感染症が貴団体に与えた影響はどのようなものがありましたか。

（複数回答あり）



■問1 「その他」の自由記述

- ・行事（イベント）の中止、延期、臨時休業（休校）、一般診療の休止、営業時間の短縮。
- ・消毒に追われた。3密は保育園で行うことは困難と感じた。保護者への再三の配布物に追われた。
- ・隔日出勤、時差出勤の実施、学校の授業、行事、資格試験の中止。
- ・受注業務が減り事業売上に影響。
- ・短期入所支援、日中一時支援等での受け入れ制限を行った。
- ・電車通勤の職員のみ休んでもらった。
- ・ビニールシート、木材でパーティションを作成した。
- ・保護者の送迎時の手洗い消毒、部屋に入らないで廊下での対応、業者は玄関での対応、3密にならないための保育の工夫、行事の延期。
- ・マスク、消毒薬等の不足。全体朝礼の中止、見舞い、面会者の立入中止。
- ・利用者、その家族の感染症に対する不安から介護サービス利用中止があった。
- ・利用者の一部にスタッフがコロナに感染しているのではないかと疑われ、その為、売上が落ちた。

問 1-2 地域とのコミュニケーション（連携）が弱くなったと感じること

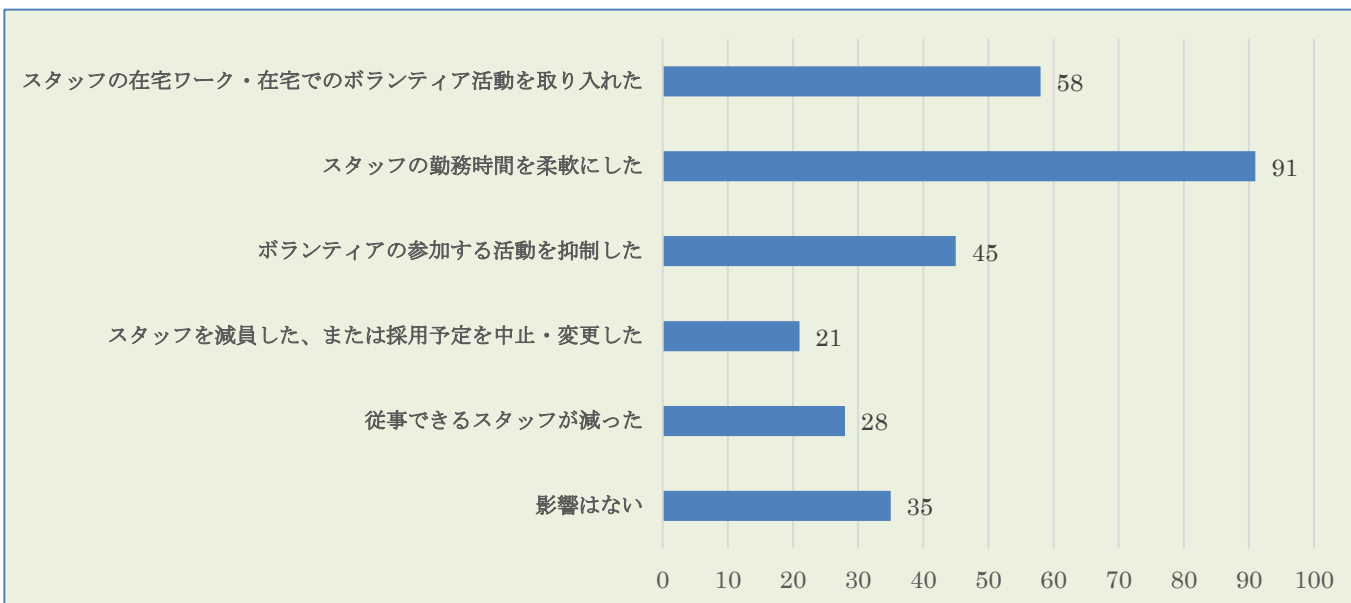
- ・地域高齢者とのふれあい交流、施設開放中止による地域交流。
- ・地域の行事、夏は盆踊り等協力させて頂いていたがコロナでそれらがなくなり、地域との接点がなくなった為。
- ・アナログに頼るところ多く、情報が不足し遅れがちであった。
- ・会議を中止または延期した関係で、他事業所との情報交換や情報共有の機会が減少した。
- ・予定していた外出行事が、訪問先施設の休館などにより実施できなくなった。
- ・顔を合わすことが極端に減ったことで状況がつかみにくくなった。
- ・地域町会等集まることなくイベントも無いので人と会うことがなくなり弱くなった。
- ・子育て支援の会や、園見学等が行えなくなったので外部者とのコミュニケーションがとれない。
- ・ソーシャルディスタンスを重視する事により、地域との会話が挨拶程度になっている。
- ・対人接触到に皆さんが過敏になっており、連携が難しくなっている。
- ・地域の集いの場がほとんど開催出来なくなり、地域の方と顔を合わせる機会がなくなった。
- ・夏祭りも中止になり、地域の一体感が体感出来なかった。

問 1-3 地域とのコミュニケーション（連携）が強くなったと感じること

- ・行事の中止や延期などに理解いただいている。HP による情報発信を積極的におこなっているため。
- ・以前から地域との交流があり、特別強くなった感じはないが、地域の方から声をかけてもらう際も、感染症予防に配慮してもらっている感じを受けている。
- ・行政や近隣の他施設との連携が取れるようになった。
- ・近所の薬局から消毒用アルコールを寄付したいと申し出をいただいたりして、地域の皆様に支えられていると感じることがありました。
- ・近隣企業との意見交換を行い、対策を検討する場面がありました。
- ・情報の共有や施設間での物資状況など共有可能や、寄贈等頂けたりした。
- ・対策に関する情報交換が活性。
- ・地域の学校や同業者さんとは連携している。
- ・地域の協議会よりマスク、消毒液の提供があり大助かりでした。
- ・強くなったとは思えないが、関係機関とは今回の問題に対する対応など相談したり、情報交換し合い助け合うという意味で強くなったのかも知れません。
- ・電話（メール）のやりとりが増えました。
- ・当院の患者を地域医療機関へ紹介し、診療を継続していただいた。
- ・見守りがより強化された。
- ・利用者の体調管理や地域の感染状況を把握するため、家族や学校との連携を十分に行う必要があった。感染予防のための消耗品（マスク、アルコール、手洗い石鹸等）の販売・配布の情報を地域の事業所と共有し、不足分の消耗品を分け合う等の協力を行った。



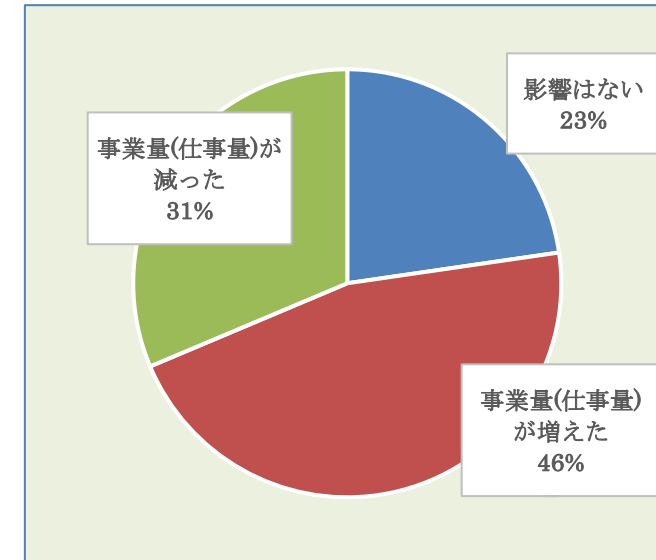
問 1-4 スタッフ（又はボランティア）について



問 1-4 「その他」の自由記述

- ・4、5月と2ヶ月間、保護者に保育の協力をしてもらい職員は順に自宅待機した。
- ・イベントなどの中止でボランティアの必要も減少した。
- ・順番に休みをとったり、シフトを組み直したりした。
- ・スタッフの在宅ワーク（一定期間）。
- ・スタッフの出勤日数を一時減らした。

問 2 事業（仕事）について



*有効回答数 182 件

(未回答 6 件)

*仕事量が増えた・減った両方回答：3 件



問 2-2 事業量（仕事量）が増えたと回答した理由

- ・児童、職員の健康チェック、情報提供、相談件数の増加。
- ・在宅勤務制度の開始に伴うルール作成要。
- ・ホームページや YouTube の教材の作成や準備、行事の見直し会議が増えた。
- ・不安になった保護者様からの相談の問合せが増えた。
- ・三密を避けるための対策除菌清掃（玄関、EV、トイレ）。
- ・外出活動が制限された為、利用者が満足出来る代替活動の補充。
- ・Web による授業となったため、資料作りなどの作業が増えた。又、新しい Web システムを理解するために業務が増えた。
- ・営業時間の短縮があったので、短い時間でコロナ前の取扱量をやらなければならなくなった。
- ・園児受け入れ時の検温、玄関での園児受け入れ。家庭保育協力の方へのお知らせ郵送、連絡。
- ・コロナウィルスの対策や、もし出た場合のシミュレーション等の時間を取っていたため。

問 2-3 事業量（仕事量）が減ったと回答した理由

- ・学校イベントの中止。
- ・感染拡大を懸念してイベント売り出しを中止した為。
- ・基本の保育業務が出来なかった。但し子供達がいつ登園してもいいように環境設備、準備はしておく。
- ・県をまたぐ移動が自粛傾向の中で人の移動が減り、商品が売れなくなってしまった。
- ・自粛期間中は家庭保育に協力して頂いた家庭が多かった分、子供の出席者が少ない日も多々あり、保育に費やす労力が減ったと思う。
- ・就労の外部受注が減りました。
- ・通所利用者の受け入れを停止したため送迎や支援業務は減った。外部会議や研修会の中止や欠席が増えた。行事（旅行等）を中止した。
- ・得意先の事業活動中止、得意先担当者の在宅勤務により進行出来ない、海外製品が入荷しなくなった。
- ・人数制限（コミュニティ）、こちらから積極的にお誘いできない。
- ・利用客そのものが 90% マイナスした為、一部事業において休業とした。